

令和2年度 第3回関市立図書館協議会 会議録

日時 令和3年3月19日（金曜日）午前10時～

場所 関市役所 6階 大会議室

◆出席者

（図書館協議会委員）

樋口 緑、波多野壽美、平川貴久、河合裕子、藤井和敏、熊崎好子 以上6名

※欠席者3名 藤根 隆、太田尚文、船戸真由美

（事務局）

島田美佳生涯学習課長、深川理代

（図書館）

塚原隆文館長、亀山並枝館長補佐

◆傍聴者 なし

◇開会

◇会長あいさつ

桜が咲き始めて、いよいよ春めいてきました。

図書館においては、このコロナの中において消毒や座席の減、除菌ボックスの導入など、市民が安心して読書を楽しめる環境づくりをしていただいて、大変ありがたく思っております。先日、図書館のリニューアルの記事が新聞に掲載しておりました。2021年に工事が開始されて、2022年に工事が完了するというので、庭園に多目的室新設、座席増という記事でした。また、ニーズや目的にあわせてエリアを分けるという事も書いてありました。昨年度のアンケートをもとにこの協議会で話し合われたことがいよいよ形になるんだと感じました。コロナで暗い話題が多い中、市民の憩いの場が提供されるのは大変明るい話題だなと思います。本日も次第に沿って活発な意見交流ができればと思いますのでよろしく願いいたします。

◇図書館長あいさつ

コロナにより入館者数が減っていましたが、徐々に戻ってきてつつあります。

昨日高校生が図書館の取材をし来てくれました。その中で図書館の自慢を聞かれました。一つは郷土の資料、特に刀剣に関しては他県からもわざわざ借りられるほど充実していると答えました。もう一つは職員の素晴らしさです。例えばメールできたレファレンスにもすぐに対応

して、利用者の方に今までで一番速かったとお礼を言われました。今後はこのようなことも多くの市民の方に知ってもらえるよう、今後も図書館運営を頑張っていきたいと思えます。

◇生涯学習課長あいさつ

本日はお忙しい中、図書館協議会にご参加いただきまして誠にありがとうございます。

コロナの中で、電子図書館の利用が増えました。関市は早くから導入をしておりましたので、書籍をどのように増やし、利用してもらうかを考えていく段階になっています。また、図書館の改修につきましても、先日予算が通りまして、皆様にご協議いただいたものがいよいよ形となってまいります。新年度で実施設計が始まり、今後詳細を詰めていくことになります。

本日ご協議いただく子どもの読書活動推進計画は、子どものみならず大人も関係してくる関市の読書活動の指針となる計画ですので、どうぞよろしく願いいたします。

◇議題

- ・樋口会長による議事進行

①「関市子どもの読書活動推進計画」（改定案）について

- ・事務局より資料に基づいて説明

◇質疑応答

【委員】 コロナにより読み聞かせを中止したような学校があると聞いている。しかし、読み聞かせは読書活動において大切な事であると思うので、継続しなければならないと考えている。また選書の折には図書館に協力をお願いしたい。

【館長】 コロナで読み聞かせに消極的な学校もあるかもしれないが、一方ではコロナで延期した図書館見学をこの年度末のタイミングで実施してくれた学校もあり、大変有難いと思っている。図書館見学の際には読み聞かせも行っており、今後も機会を捉えて読み聞かせやブックトークを実施していきたい。

【委員】 小学校卒業の際に、1年生から6年生までに読み聞かせをした本のリストと、中学校では自分で本を読んで下さいというメッセージを渡すという活動を実施している。

【館長】 読書記録が残って、大変よい活動である。

【委員】 今年度はコロナで授業時間が足りない状況で、各学校で苦慮された結果読み聞かせを無くしたという選択肢をされた学校もあったかもしれない。その中でも例えば校内放送で読み聞かせを行うなど工夫する余地はあると思う。

【委員】 電子図書館は新しい視点ということか。

【事務局】細かい変更はいくつかあるが、電子図書館や図書館改修が大きく変わった新しい視点となっている。

【委員】地域での読書活動の推進の部分にも電子図書館について触れるとよいと思う。

②令和2年度の図書館運営状況について

③令和3年度図書館事業計画について

・館長より説明

◇質疑応答

【委員】公共の物である本の破損などは大変残念な事だと思う。適切に対処していただけていて大変有難いことである。

【委員】改修工事については、大変使いやすくなりそうでとても楽しみにしている。図書の破損について、ふれあいセンターで活動しているが、子どもは悪気なく破ってしまうこともある。その際にはこちらで無理に直さないで図書館に返したほうがよいか。

【館長】こちらで修理をするので、そのまま返却願いたい。

【委員】子どもは読み聞かせが大好きで、小さい頃は読み聞かせに親しんでいる。しかし、自分で読む読書となると習慣づけるのが難しい。読み聞かせは本に親しんでもらう活動であるが、究極は自らで読書ができるようになることが大切である。そこが今後の課題であると思う。

【委員】子どもたちにタブレットが配布されたので、今後はタブレットを使った電子図書館の利用促進など新たな活用を考えていかなければならないと思う。

◇閉会（生涯学習課長あいさつ）

短い時間でしたが、大変充実したお話がきけて、来年度の図書館運営や改修の参考となりました。本日はお忙しい中誠にありがとうございました。